

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 04 04	中期総合計画主要施策番号		2-03	担当課	部・課	農政部 園芸畜産課	
事業名		果実計画生産出荷促進資金造成事業					内線	3092	
							E-mail	enchiku@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	りんごの計画的な生産出荷を確実にするため、個人ごとの生産目標数量等を設定し、その実現のための調査・指導等の実施に要する資金に対して県負担分を拠出し、生産者の経営安定を図る。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 果樹は、永年性作物のため、気象変動による毎年の出荷量の変動が大きくなりやすく、年によっては需要を上回る生産がなされる。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 産地・生産者が個々の思惑で生産出荷を行うと、供給過剰となり、価格低下につながる。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 産地・生産者が全国的な適正需給計画の基に生産出荷量の調整等を実施する必要がある。							
	事業内容	産地、生産者が行うりんごの計画的な生産や出荷量の調整等の運営を行うための資金造成に対し助成する。 [補助対象:(社)長野県果実生産出荷安定基金協会 補助率:国1/2、県1/4、生産者団体等1/4]							
実施期間	H13 ~		根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、果実等生産出荷安定対策実施要綱					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	国が示す適正生産出荷数量に基づく計画生産を行い、価格の安定を図る。		国が示した適正生産量 181,000t、適正出荷量162,600t以内とすること。			生産量については185,500tとなったが、適正出荷に努めたことにより、出荷量については国が示した適正数量以内の162,400tとなった。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	2,485	2,485	2,485	国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	2,484	2,483		実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	2,484	2,483	2,485	歳出節別	補助金 2,483 (単位: 千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.50	0.50	0.50	内訳等		
	概算人件費 (C)		千円	3,570	3,575	3,575			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	6,054	6,058	6,060				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	りんご総生産量		t	170,300	185,500	181,000			
	りんご単価		円/kg	206	180	-			
	指導対象産地		産地数	17	17				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・生産者の経営安定のためりんごの計画生産・出荷を進めたが、単価については景気の後退等から全国的に極めて安値となった。 ・本対策は、国によって全国統一的に運営されている制度であり、また、国、生産者団体と一体的に推進していることから見直し等については余地がない。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		本県りんご価格の安定及び果樹生産者の安定経営に寄与しており、引き続き適正な事業執行に努めることが重要である。						